

キャンパス点描

オープンキャンパス2013を開催しました



学部オープンキャンパスを7月13日(土)～15日(月・祝)に開催しました。連日の猛暑の中、7,000名を超える受験生や保護者の方々にご参加いただきました。

全体説明会では、羽入佐和子学長からお茶大の紹介と受験生へのメッセージ、続いて耳塚寛明教育機構長から入試制度や教育プログラム、奨学金、学生寮などについての説明があり、その後、各学

部長による学部・学科の説明がありました。

全体説明会後には、各学科・講座・コース別に、模擬授業や在学生による相談、研究室ツアーなど工夫を凝らしたプログラムが行われ、参加者から活発な質問が飛び交いました。

各学科・講座・コースでの質疑応答や模擬授業のアシスタント、オープンキャンパス全体の受付・案内などは本学の学生が担当し、受験生や保護者からの質問に熱心に答える姿も。受験生からも、実際に大学生の声が聞けて、お茶大のことがさらによく分かった、との声もいただきました。また、受付では、熱中症対策にお茶大オリジナルの水(非売品)も配布しました。



四女子大学共催イベント

女子中高生のためのサイエンスフェスティバル 開催

8月31日(土)に四女子大学(※)共催イベント「第7回 女子中高生のためのサイエンスフェスティバル」がお茶の水女子大学で開催され、240名を超える参加者がありました。

特別講演は「南極で越冬しました!」というテーマで、礒野靖子さん(名古屋大学)から、南極は一体どんなところなのか、昭和基地でどんな生活をして一年間を過ごしたのか、どんな仕事をしてきたのかなどなど、現在の南極の様子や観測隊の姿などについてのお話があり、会場の参加者には大変好評でした。

四女子大学の卒業生によるロールモデル講演会では、さまざまな分野で活躍する卒業生から、理系に進んだきっかけ、学生時代のエピソード、現在の仕事の内容など興味深いお話があり、女子中高校生の皆さんには大変参考になったことと思います。



四女子大学の学部生・大学院生との交流コーナーでは、数学、情報、物理、化学、生物の分野に渡る研究内容の紹介があり、生の研究に触れることができました。

また、ソニー株式会社による「ソニー・サイエンスプログラム for ガールズ」が同時に開催され、15名的女子中高校生が「光通信」をテーマに、はんだを使用した本格的な工作を体験しました。

参加者の満足度が高いプログラムとなりました。

※ 四女子大学・・・お茶の水女子大学、津田塾大学、東京女子大学、日本女子大学(五十音順)





他にも、入試情報質問コーナーやカリキュラム・資格取得質問コーナーなどでは、相談に来た学生・保護者の方で賑わっていました。今年から、グローバル力強化コーナーや学生寮SCC紹介コーナーを新たに設置。先生方の留学体験トークや、SCCで寮生活を送る学生との相談などが行われました。

来年度も引き続きオープンキャンパスを実施いたします。開催時期がまきましたら、大学ホームページでお知らせいたします。

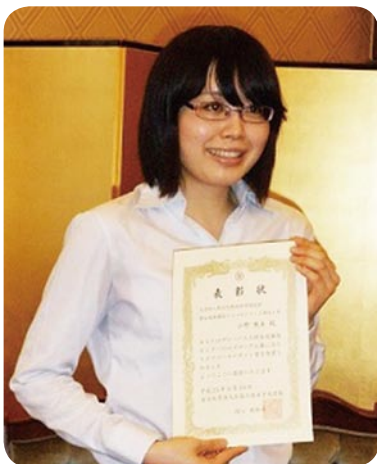


小野 亜美さんがグローバル人材育成推進センター ロゴマークデザイン賞を受賞



この度、小野亜美さん(大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程ライフサイエンス専攻1年)がグローバル人材育成推進センターロゴマークデザイン賞を受賞し、8月20日(火)に表彰式が行われました。

この賞は、本学が文部科学省の補助金により実施するグローバル人材育成推進事業(平成24~28年度)運営の中核組織として、平成25年3月1日に設立されたグローバル人材育成推進センターのシンボルとしてふさわしいロゴマークデザインの考案者に対して贈



表彰式の様子



(左より) 小野さん、羽入学長、河村センター長

られるものです。本学学生、教職員からの公募により5名・計8点の作品が寄せられ、厳正なる選考の結果、小野さんに受賞が決定しました。優勝作品には本学英語表記名「Ochanomizu University」が付され、公式ロゴマークとしてお目見えます。

表彰式では羽入佐和子学長から賞状が、続いて河村哲也センター長から賞品が授与されました。式後には学長、センター長が小野さんと和やかに歓談されました。

グローバル人材育成推進センターについては、ホームページをご覧ください (<http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/index.html>)

キャンパス点描